

一般質問

30名の議員が市政に関して一般質問を行いました。
2次元コードにアクセスすると中継映像がご覧いただけます。



初雁自由政令会 **村山 博紀**
自治会の課題と今後 1



問空き家対策やごみ屋敷対策など地域課題の取り組みの推進には自治会と行政の関係性向上が重要だ。自治会との協力関係維持について、今後の展望を伺う。

答市長 これまで川越市自治会連合会等と協力しながら、地域における課題解決に向けた活動を推進してきた。

空き家問題等の新たな課題に対しても、各地域からの要請に応じて職員が地域に出向き、各種制度の説明や問題の解決に向けた先進事例を紹介するなど、積極的な情報発信、情報提供を行っている。

今後も自治会を中心とした地域住民との協働による、安全で安心な住みよい地域づくりを推進していきたい。

【問】空き家とごみ屋敷の対策



初雁自由政令会 **牛窪 喜史**
地域コミュニティ醸成を 2



問地域コミュニティの醸成を図るため地域の行事やイベントの継続や復活が重要と考えるが、市の考えを伺う。
答市民部長 市民が安心して生活できる環境を整えるには、地域コミュニティ活性化の機運を作り出すことが非常に重要である。

対面で行う行事やイベントは、人と人とのつながりを生み出し関係性を深める契機となるもので、活発な地域活動はコミュニティの維持に不可欠のものと考える。

今後も自治会との信頼関係を維持しながら地域コミュニティのニーズを捉え、実情に応じて活動を継続できるよう支援していきたい。

【問】地域イベントの活性化 【問】自然災害の備え



初雁自由政令会 **中原 秀文**
市民を守るための都市計画 3



問50年後、100年後を見据えた長期的視点に立った水害から市民を守るための都市計画について、市の居住誘導に関する考え方も含め、市の考えを伺う。

答都市計画部長 洪水浸水想定区域の一部は、周知を徹底することや水害対策を講じていくことを前提に、居住誘導区域に含めている。各種災害のリスク評価を行った上で、地区ごとの課題について整理し、これから転入する人も含め市民にも広く周知をすることで地域の防災対応能力の向上も図りながら、ハード・ソフトの対策を組み合わせた対策について関係部局、関係機関とも連携しながら取り組んでいきたいと考えている。

【問】水害から市民を守る



初雁自由政令会 **小島 洋一**
福原地区の通学路道路環境 4



問福原地区の通学路の問題の一つである、ゲリラ豪雨等により道路冠水が発生する県道川越所沢線の中福交差点について、どのような対応を行っているのか伺いたい。

答建設部長 県道川越所沢線の中福交差点は、地形上、周辺からの雨水が集中しやすく、大雨により度々冠水が発生する状況にあった。このため、交差点に接続する市道0056号線の道路側溝の堆積土砂撤去と、市道側溝から県道側溝へ排水管を接続する対策の結果、冠水について一定程度の改善が図られたと認識している。引き続き排水施設の適切な管理に努めるとともに、ゲリラ豪雨時等における冠水状況を注視し、必要な対策を検討していく。
【問】福原地区の道路環境



初雁自由政令会 **小林 範子**
変化する高齢者像と居場所 5



問高齢者像の変化に伴い、市は経験や趣味を生かした居場所づくりや活動づくりをどのように進めていくのか伺いたい。

答福祉部長 高齢者像の変化に伴い生活が多様化する中、培った能力や経験、自分の趣味、関心、強み等を生かした活動を行い、活躍し続けられることが大切である。生活支援コーディネーターの活動をこれまで以上に充実させ、地域資源の発掘やその情報を関係者等が共有・周知することで、高齢者一人一人が自分に合った居場所や活動の場を選択し、高齢者がいつまでも人や地域とつながり、生き生きと過ごせるよう取り組んでいく。

【問】シニア・子どもの居場所



川越志政会 **松本 きみ**
大東グラウンド等の活用 6



問大東グラウンド、BMX・スケートボードエリアの地域活性化に資するような活用について、どのように考えているのか伺いたい。

答都市計画部長 大東グラウンドは、広い面積を有した都市公園で、多くの駐車場もあり、地域の人が主催するようなイベントや地域活動の場としても活用できるものと考えているので、地元等で利用に関し相談があれば、適宜、対応したいと考えている。



【問】大東グラウンドの今後 【問】子どもの読書のあり方